

(仮称)平塚市学校給食センター整備・運営事業

審査講評

令和4年1月19日

平塚市学校給食センター整備等事業者選定委員会

平塚市学校給食センター整備等事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、（仮称）平塚市学校給食センター整備・運営事業（以下「本事業」という。）に関して、落札者決定基準（令和3年7月15日公表）に基づき、提案内容の審査を実施したので、審査結果及び審査講評をここに報告します。

令和4年1月19日

平塚市学校給食センター整備等事業者選定委員会  
委員長 山崎 俊裕

## 第1 選定委員会の体制

本事業は総合評価一般競争入札方式で実施することから、PFI・PPP、金融・財務、建築、法律及び栄養学に関し知見を有する学識経験者で構成する選定委員会において、落札者決定基準及び審査方法等の検討を行うとともに、最優秀提案の選定を行いました。

選定委員会の体制は、表1のとおりです。

表1 選定委員会の体制

役職	氏名	所属等
委員長	山崎 俊裕	東海大学工学部 教授
委員長職務代理	伊庭 良知	一般社団法人国土政策研究会 理事
委員	深山 愛美	城田法律事務所
委員	守泉 誠	守泉公認会計士事務所
委員	森 真理	東海大学健康学部 准教授

## 第2 選定委員会の審査経緯

選定委員会は、計4回開催し、開催日と主な議題は表2のとおりです。

表2 選定委員会の開催日と主な議題

回数	開催日	主な議題
第1回	令和3年4月7日(水)	・委員長及び委員長職務代理の選出 ・実施方針及び要求水準書(案)
第2回	令和3年6月9日(水)	・落札者決定基準(案) ・入札説明書等(案)
第3回	令和3年10月22日(金)	・参加資格審査の確認 ・提案内容審査の進め方
	令和3年11月26日(金)	ヒアリング(2グループ)
第4回	令和3年11月26日(金)	・提案内容審査 ・最優秀提案者の選定 ・審査講評(案)の検討

## 第3 審査結果

### 1 参加資格審査(第一次審査)

市は、表3に示された2グループから提出された入札参加表明書及び参加資格確認申請に関する提出書類を審査し、入札参加者が備えるべき参加資格要件(入札説明書に規定されている要件)を満たしていることを確認し、選定委員会はその報告を受け、確認をしました。

なお、審査に当たっては、公平性を確保するため、グループ名や企業名を伏せることとし、各グループの呼称は、「H11」、「H16」としました。

表3 入札参加グループ

No	受付番号	グループ名
1	H11	東洋食品グループ
2	H16	ジーエスエフグループ

## 2 提案内容審査（第二次審査）

### (1) 入札書及び提案資料の確認

各グループから提出された入札書及び提案資料について、各グループが様式集に記載した必要書類を満たしていることを確認しました。

### (2) 基礎審査

各グループから提出された提案資料の内容が、表4に示す審査項目の内容を充足していることを確認しました。

表4 基礎審査の視点及び内容

審査項目	審査の視点	審査内容
1 資金調達・ 収支計画	確実な資金調達、安定的な収支計画となっているか。	金融機関等との融資条件の調整など、事業開始後の確実な資金調達が見込めるか。
		適切な収支計画となっているか。
2 工程計画	令和6年9月に供用開始する工程計画となっているか。	令和6年9月に供用開始する工程計画となっているか。
		設計や建設に係る申請手続等の適切な期間が確保されているか。
3 平面・断面 計画	計画地が浸水想定区域かつ河川保全区域であることに対応した浸水対策が計画されているか。	国土交通省の「地点別浸水シミュレーション検索システム」に示される深さの浸水が発生した場合においても、給食センターに設置した厨房機器等が浸水せず、浸水が収まった後に、各学校の給食実施日に給食を提供できる計画となっているか。
		給食エリアのうち、検収・下処理ゾーン及び調理ゾーンは、小学校3献立分と中学校2献立分を壁により区分して各諸室が計画されているか。
		非汚染・汚染作業区域が適切に区分されているか。
		要求水準に規定した諸室がすべて計画されているか。
4 調理設備計画	1日15,000食かつ5献立方式であることを踏まえたうえで、2時間喫食に対応できる十分な調理設備計画が提案されているか。	適切な規模の食品の保管スペースを確保しているか。
		適切な調理能力を有する機器・台数を設置しているか。

5 配送計画	2時間喫食に対応できる配送計画となっているか。	対象校36校への2時間喫食に対応できる配送計画となっているか。
--------	-------------------------	---------------------------------

(3) 加点審査

事業提案書についてはヒアリングを踏まえ、その提案が優れていると認められるものについては、その程度に応じて性能点を付与しました。

性能点は、表5に示す8つの審査項目ごとに、表6に示す5段階評価により付与し、小数点第2位まで求めました。

なお、「5 その他(1)地域経済への配慮」のうち、市内企業への発注額に係る得点については、表6に示す5段階評価によらず、評価の視点に記載の算定式により算定しました。

各グループの性能点は、以下のとおりです。

表5 各グループの性能点

審査項目		審査の視点	配点	性能点		
				H11	H16	
1 事業計画		・事業を長期間安定的に実施するための実施体制(構成企業の役割・責任分担、バックアップ体制、人員配置等) リスク管理、セルフモニタリング計画等について、優れた提案がなされているか。	6	4.50	2.10	
2 安全・安心でおいしい、適温給食の実現	(1)安全・安心な給食提供の実現	・15,000食、5献立の調理を実施するにあたり、食物アレルギー物質の混入や食中毒の防止等に向けた衛生管理及びリスクの低減・回避について、施設計画・運営の観点から優れた提案がなされているか。	14	20	11.90	7.70
	(2)おいしい適温給食の実現	・おいしい給食を提供するための調理設備の導入や調理の工夫等について、優れた提案がなされているか。 ・適温給食の実現のため調理機器・調理備品の調達等について、優れた提案がなされているか。	6		4.50	3.00
3 学校給食を活用した、更なる食育の推進		・給食センターにおいて、児童・生徒の食に関する興味や知的な好奇心を育むための、諸室・設備・備品等の計画及び市が行う食育への取組支援について、優れた提案がなされているか。	4	8	3.20	2.80
		・新型コロナウイルスが蔓延する社会状況等も踏まえ、情報発信やICTの活用等により食育を展開するための支援について、優れた提案がなされているか。	4		2.40	2.40

審査項目		審査の視点	配点		性能点	
					H11	H16
4 未来に 続く安定的 な給食提供 の実施	(1)コスト 削減、環境 負荷への配 慮	・長期的な視点から修繕費・光熱水費を含むライフサイクルコストの削減、施設・設備機器の長寿命化・メンテナンス性、省エネルギー化及び環境負荷への配慮について、優れた提案がなされているか。	5	13	4.00	2.00
		・将来的な調理員の人材不足等を考慮し、調理作業の効率化や人員配置の工夫等について、継続的な運営を見据えた優れた提案がなされているか。	3		2.10	1.05
	(2)災害対 策等	・災害発生後（水害の場合は浸水が収まった後）各学校の給食実施日に給食を提供できるよう、災害発生時における施設や設備機器への影響の回避・抑制及び早期復旧の方策について、優れた提案がなされているか。	5		3.25	2.50
5 その他	(1)地域経 済への配慮	・建設企業のみならず様々な分野の市内事業者の育成、市内事業者の参画及び市内雇用の創出など、地域経済に貢献するための優れた提案がなされているか。	5	13	2.25	3.50
		・市内企業への発注を通じた地域経済へ貢献が期待できるか。 (得点の算定式) 評価点 = 5点 × {(建築工事費等 <sup>注1)</sup> 注2)のうち市内企業への発注額/建築工事費等)} 算出した得点の小数点第3位以下を四捨五入し、小数点第2位まで求める。 注1) 様式20-2 初期調達費見積書に記載した「4.建築工事」「5.電気設備工事」「6.空調設備工事」「7.給排水・衛生設備工事」「8.昇降機工事」「13.土木工事」及び「14.付帯工事」に係る見積額の合計額とする。 注2) 市内企業への発注額とは、入札参加グループの構成員がSPCから受注した金額及び入札参加グループの構成員からの一次下請企業への発注額の合計額とする。	5		2.00	1.87
	(2)周辺環 境・安全性 への配慮	・騒音、振動、悪臭、交通渋滞、その他近隣への影響の抑制につながる優れた提案がなされているか。 ・近隣住民、本施設の来場者、給食配送校の児童・生徒等の安全確保について、優れた提案がなされているか。	3		1.95	1.50
合計			60		42.05	30.42

表6 加点審査の評価基準と得点化方法

評価	判断基準	得点化方法
A	特に優れている	当該項目の配点 × 100%
B	AとCとの中間程度	当該項目の配点 × 75%
C	優れている	当該項目の配点 × 50%
D	CとEとの中間程度	当該項目の配点 × 25%
E	要求水準を満たす程度	当該項目の配点 × 0%

(4) 入札価格の確認

市は、各グループの入札書に記載された入札価格が予定価格(17,627,471,000円税抜)を超えていないことを確認しました。

(5) 価格点の算定

入札書に記載された入札価格を対象として、次式により価格点を算定しました。

価格点の算定に当たっては、小数点以下第3位以下を四捨五入し、小数点第2位まで求めました。

$$\text{価格点} = 40 \text{点} \times \{ 1 - (\text{入札価格} / \text{予定価格})^3 \}$$

各グループの価格点は、表7のとおりです。

表7 各グループの価格点

項目	H11	H16
入札価格(税抜)	14,629,533,850円	15,983,989,604円
価格点	17.13	10.18

(6) 総合評価及び最優秀提案者の選定

各グループの総合評価点を次式に基づいて算定した結果は表8のとおりとなり、総合評価点が最も高いH11グループを最優秀提案者として選定しました。

最優秀提案者の構成は、表9のとおりです。

$$\text{総合評価点} = \text{性能点(最大60点)} + \text{価格点(最大40点)}$$

表8 各グループの総合評価点

項目	H11	H16
性能点	42.05	30.42
価格点	17.13	10.18
総合評価点	59.18	40.60
順位	1位	2位

表9 最優秀提案者(H11グループ)の構成

区分	企業名
代表企業	株式会社東洋食品
構成企業	東亜建設工業株式会社 横浜支店

	株式会社エス・ケイ・ディ 株式会社下田商会 川本工業株式会社 タニコー株式会社 湘南営業所 伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社 株式会社総合サービス NECキャピタルソリューション株式会社 神奈川支店
協力企業	パシフィックコンサルタンツ株式会社 横浜事務所

## 第4 審査講評

### 1 各加点項目の審査講評

各グループに対する加点項目ごとの審査講評は、表10のとおりです。

表10 加点項目ごとの審査講評

評価項目		審査講評
1 事業計画		H11 ・不測の事態に備えた資金調達の計画や安定的に事業を継続するためのバックアップ体制について、優れた提案がなされていた。 H16 ・新型コロナウイルス感染症に対するリスク管理や有識者等第三者からのモニタリングの実施について、優れた提案がなされていた。
2 安全・安心でおいしい、適温給食の実現	(1)安全・安心な給食提供の実現	H11 ・小学校、中学校それぞれにおいて諸室を区分することをはじめ、衛生管理の徹底や異物混入のチェック方法・原因分析方法等、具体的な優れた提案がなされていた。 H16 ・衛生管理を徹底するための動線・諸室計画及びアレルギー食提供のチェック方法について、優れた提案がなされていた。
	(2)おいしい適温給食の実現	H11 ・安定的においしい給食を提供するためのデータ管理や調理品のモニタリング方法について、具体的な優れた提案がなされていた。 H16 ・運営企業の実績を活かした、献立の提案やおいしい給食を提供するための現況を基にした分析や調理方法の改善策など優れた提案がなされていた。
3 学校給食を活用した、更なる食育の推進		H11 ・実際の調理機器・設備を用いた展示等、子どもたちの関心を高める食育展示について、優れた提案がなされていた。 ・ICTを活用した食育について、調理場の映像に関する配信や動画コンテンツの配信など優れた提案がなされていた。 H16



評価項目		審査講評
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学通路・展示ホール等のゆとりある施設計画や視覚・聴覚障がい者に配慮した見学対応方法について、優れた提案がなされていた。</li> <li>・ICTを活用した食育について、様々な映像・動画コンテンツの配信やアンケート実施など優れた提案がなされていた。</li> </ul>
4 未来に続く安定的な給食提供の実施	(1) コスト削減、環境負荷への配慮	<p>H11</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用電力・CO2削減、節水及び再資源化等の環境負荷低減について、優れた提案がなされていた。</li> <li>・業務従事者へ配慮した設備計画や雇用形態などについて、優れた提案がなされていた。</li> </ul> <p>H16</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕・更新を最適化するシステムの導入について、優れた提案がなされていた。</li> </ul>
	(2) 災害対策等	<p>H11</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水後のリスクや施設の衛生管理を考慮した浸水対策について、優れた提案がなされていた。</li> </ul> <p>H16</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水に備えた設備機器の設置計画や災害復旧支援を考慮した車両の導入など、優れた提案がなされていた。</li> </ul>
5 その他	(1) 地域経済への配慮	<p>H11</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内雇用の創出や調理員の確保について、優れた提案がなされていた。</li> </ul> <p>H16</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設時のみならず、施設の運用時についても地域経済に好循環を生む優れた提案がなされていた。</li> </ul>
	(2) 周辺環境・安全性への配慮	<p>H11</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配送車やサービス車両の動線分離や来場者や調理員の動線など、安全性に配慮した優れた提案がなされていた。</li> </ul> <p>H16</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臭気対策や景観に配慮した施設計画等について、優れた提案がなされていた。</li> </ul>

## 2 総評

本事業は、平塚市が新たな学校給食センターの整備・運営をするに当たり、PFI手法を導入することにより、安全・安心でおいしい適温給食の実現や、学校給食を活用した更なる食育の推進等を図ることを目的として実施されるものです。また、本事業者の選定は、総合評価一般競争入札で行うため、選定委員会を設置し、提案内容の各項目について厳正かつ公正な審査を行いました。

事業者には本事業の特性を十分に理解した上で、民間のノウハウを最大限に活かした、給食の安定的な提供を実現するための提案を期待しました。

本事業は、多くの企業から関心が寄せられた中で、最終的に2グループから応募がありました。提出された提案資料は、いずれも本事業の目的を十分に理解されたもので、市が要求する水準を上回る優れた内容でした。

H11グループについては、設計・建設・維持管理・運営という各業務を通じて、一貫して安全・安心でおいしい給食を実現するための具体的な提案が随所に見られました。特に、小・中学校の区分に配慮した衛生管理方法、浸水後の復旧等を見据えた災害対策及び省エネルギー性へ配慮した設備機器の導入に関する提案について、高く評価しました。

H16グループについては、多様な食育支援の提案、運営企業の実績を活かした調理の工夫及び修繕・更新を最適化するシステムの導入に関する提案について、高く評価しました。しかしながら、敷地内における歩車分離等の利用者への配慮、利用環境に配慮した諸室計画、浸水後のリスクに備えた災害対策及び提案全体の具体性等について、提案に不足している部分がありました。

提案内容の評価においては、加点審査の評価に入札価格による評価を加えた総合評価の結果、H11グループの提案を最優秀提案として選定しました。

今回、両グループの皆様には、社会的状況において企業活動の自粛要請を受けている中、各企業の実績・経験を基にした独自のノウハウや創意工夫が盛り込まれた提案をいただきましたこと、また書類作成における御尽力に対して、心から感謝を申し上げます。

## 3 事業実施に当たっての要望

本事業をより良いものとするため、最優秀提案者として選定したH11グループに対し、提案内容を踏まえ、次の諸点について十分に留意し、事業を実施されるよう選定委員会として要望します。

小学校と中学校を区分した衛生管理の提案について、確実に実行できるよう更なる検討を行うこと。

調理員の動線計画について、実用性・効率性に欠けると考えられる部分があることから、より適切な計画となるよう改善に努めること。

食育機能について、見学ホールなどは合理的に計画され省スペース化が図られている一方、食育への充実について懸念があることから、より一層充実した食育となるよう努めること。

ICTを活用した食育等については、セキュリティ上の工夫など徹底した情報管理に努めること。

以上について、事業契約に対する公平性を妨げない範囲において、本事業を確実に履行するために市と十分な協議を行い、事業期間にわたって、効率的・効果的かつ安定的・継続的なサービスの提供ができることを期待します。